

糖尿病治療が変わる!?

昨年夏、3年ぶりに欧州を訪ねた加藤秀樹さん(仮名、48歳)はイギリシ、自己血糖値を測って友人の表情が明るくなった。重い糖尿病に苦しんでいた友人は、食事が終り、加藤さんの前に座り、上腕部に装着したセンサーを刺して、血を絞り出して行うからだ。ところが、欧州では体に張り付けたセンサーにレーザーをかざすだけでいつでも自己血糖を測定できる装置が登場。専門家の間で「糖尿病治療を変える」と話題になっているという。

2週間いつでも測定できる

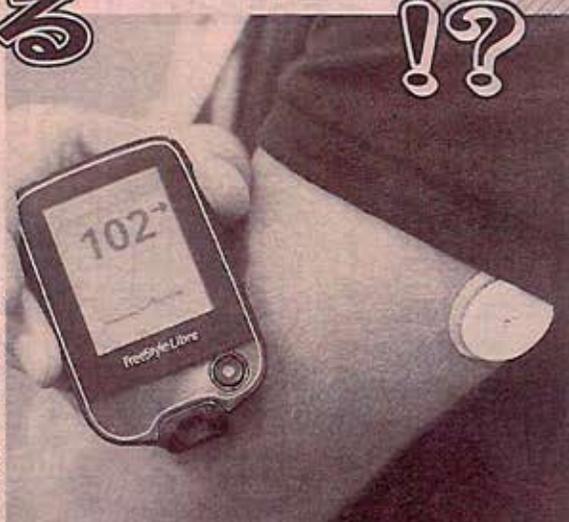
「血をみない」新型自己血糖測定器

「そのセンサーをつけて取ることで、2週間いつでも測定できる。8時間ごとにも専用の読み取り器にスキャンすれば24時間を近づけるだけ。その自己血糖値を測れる。た。と大喜びでした」(加藤氏)

「そのセンサーをつけて取ることで、2週間いつでも測定できる。8時間ごとにも専用の読み取り器にスキャンすれば24時間を近づけるだけ。その自己血糖値を測れる。た。と大喜びでした」(加藤氏)

「そのセンサーをつけて取ることで、2週間いつでも測定できる。8時間ごとにも専用の読み取り器にスキャンすれば24時間を近づけるだけ。その自己血糖値を測れる。た。と大喜びでした」(加藤氏)

「そのセンサーをつけて取ることで、2週間いつでも測定できる。8時間ごとにも専用の読み取り器にスキャンすれば24時間を近づけるだけ。その自己血糖値を測れる。た。と大喜びでした」(加藤氏)



痛い 時間がかかる 面倒くさい からオサラバ

か、下降トレンドにあるのかも表示してくれるという。これなら、大きな血糖値の乱れを予測して、薬を調節するなどの手を打つことができる。お風呂や水泳をするときでもセンサーを取り外す必要はない。センサーは5センチのフィラメントが一本突き出ているので、それを上腕部に刺すだけ。痛みはほぼ感じないというから驚きだ。

しかも、欧州では読み取り器とセンサーセットで2万円前後で発売されているという。

皮膚が弱い人などはセンサー装着箇所がかぶれるなどの副作用。はあるものの、利便性が大きく上回る。

実際、2年前に英国から個人輸入して使用しているという眼科医が言う。

「血糖値が跳ね上がるパターンがわかるので、投薬がより適正化され、インスリンなどの薬の量が減った、という患者さんもいます。日本での早期導入を望む糖尿病患者さんは少なくありません」

厚生労働省の「患者調査」によると、日本の糖尿病患者数は316万6000人。日本での発売は未定だ。